

「英語ノート」 2

Lesson1 アルファベットで遊ぼう

| 回数 | 活動バランス | 活動 *準備するもの |
|----|-------------------------|---|
| 1 | <p>聞く活動</p> <p>聞く活動</p> | <p>■アルファベットを探そう①</p> <p>【アルファベット探し】(英語ノート P4・5)</p> <p>①教師が隠れているアルファベットを1つ言う。 ②ペアで,指導者の言うアルファベットを指さし競争する。早く指さした方が1ポイントもらう。 *プロジェクター・スクリーン</p> <p>【アルファベット・カルタ】</p> <p>①1人ずつカルタカードを広げる。 ②教師が英語で言ったアルファベットカードを取る。 *アルファベット・カルタ (英語ノート巻末)</p> |
| 2 | <p>聞く活動</p> <p>聞く活動</p> | <p>■聞こえたアルファベットを探そう</p> <p>【線つなぎ】(英語ノート P6) ※指導資料②P16 参照</p> <p>①教師の言うアルファベットを順番に線で結んでいく。 ②線を結んでできた文字や絵が何であるか考える。</p> <p>【アルファベット・カルタ】</p> <p>①2人一組でカルタカードを広げる。 ②教師が英語で言ったアルファベットカードを取る。 *アルファベット・カルタ (英語ノート巻末)</p> |
| 3 | <p>口まねする活動</p> | <p>■アルファベットを探そう②</p> <p>【アルファベット並べ】</p> <p>①最初に7並べのアルファベットバージョンであることを告げる。 ①4人でグループになり,各自,巻末大文字アルファベットカードを用意し,4人のカードを一緒に混ぜる。その際 L M N O を各1枚ずつ取り除き,残りのカード(100枚)を十分きる。 ②残りのカードを4人に均等になるように1人25枚ずつ配る。 ③「7並べ」のように L M N O のカードを4段に並べる。</p> <div style="text-align: center;"> </div> |

| | | |
|---|---------------|--|
| | | <p>④じゃんけんをして、順番を決め、手持ちのカードから LMNO の前後いずれかの大きい文字アルファベットカードがあれば、どの列でもよいので、おける場所に 1 枚ずつ置く。その際、アルファベットの読み方を言うように指導しておく。</p> <p>⑤手持ちのカードで置くところがない場合はパスをする。パスは 2 度までとして 3 度目になると手持ちのカードを場にだす。</p> <p>⑥はじめに手持ちのカードを全て並べた子どもが勝ちとなる。</p> |
| 4 | 口まねする活動 | <p>■アルファベットを探して発表しよう①</p> <p>【アルファベット探し】（英語ノート P 9）</p> <p>① 教室の中を見回し、アルファベットを見つけ児童に紹介する。</p> <p>② 教室や身の回りからアルファベットを探し、記入する。</p> <p>③ 探したアルファベットがどんな意味か各グループで相談する。</p> <p>④ 分からなかったアルファベットは ALT に確認する。</p> |
| 5 | 口まねする活動 | <p>■アルファベットの大きい文字と小さい文字に慣れる。</p> <p>【アルファベット大きい文字・小さい文字合わせゲーム】</p> <p>①英語ノート指導資料 p37 に紹介されている発展的活動。 大きい文字と小さい文字を一致させる神経衰弱。</p> <p>②詳細は、指導資料参照。</p> <p>③一人の児童がカードをめくったら、全員でその文字の読み方を言うようにする。</p> |
| 6 | 口まねする活動 | <p>■アルファベットの大きい文字と小さい文字に慣れる。</p> <p>【英語ノート Activity1】（英語ノート P14）</p> <p>①英語ノート P14 の活動。詳細は、指導資料 P35 参照。</p> <p>②全員が書き終わったら、なんと読むのか児童に言わせてみる。</p> |
| 7 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■アルファベットを探して発表しよう②</p> <p>【アルファベットクイズ】</p> <p>* 前時に身の回りで使われているアルファベットを探してくるように児童に指示しておく。</p> <p>① グループを作る。（4 人か 5 人）</p> <p>② グループごとに見つけ出したアルファベットを発表しあう。</p> <p>③ 教師が全体の児童に身の回りから探したアルファベットをクイズ形式で紹介する。 例) The first hint is music. The second hint is small. The third hint is M. The answer is MD.</p> <p>④ 教師のクイズのヒントの出し方を参考に、グループ内で面白いアルファベット表示を 1 つ選び、クラスみんなにどのようなヒントを出してクイズ形式で紹介するかを相談する。</p> <p>⑤ グループごとにヒントをだしていく。</p> |

Lesson2 いろいろな文字があることを知ろう

| 回数 | 活動バランス | 活動 *準備するもの |
|----|-----------------|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■世界には、色々な文字があることを知る。 20 を越える数字を知る。</p> <p>【英語ノート P10,11 Activity】詳細は、指導資料 24</p> <p>①ポスターにどんな動物がいるかを聞く。教師は、動物の名前を英語で確認していく。</p> <p>教師：What animal do you see?</p> <p>②動物の近くに書かれている文字がどこの国かを児童に尋ねる。</p> <p>③文字が使われている国を世界地図で示す。</p> <p>④それぞれの動物が何頭いるかを聞く。</p> <p>教師：How many~ are there?</p> <p>⑤児童が答えた数字を黒板に書く。児童が日本語で答えた数については、教師が英語で答える。</p> <p>⑥出てきた数字を教師と一緒に言ってみる。</p> |
| 2 | 口まねする活動 聞く活動 | <p>■20～100 までの数字の言い方を知る。</p> <p>【Thirty, Forty...,One Hundred ♪】（英語ノート P 1 1）</p> <p>【1～100 までの数字カルタ】</p> <p>①4 人組になり、1～100 までの数字のカルタを並べる。</p> <p>②教師が言う数字をグループで協力してとっていく。</p> |
| 3 | 口まねする活動 | <p>■20 を越える数字を言ってみる。</p> <p>【いくつあるかな？】</p> <p>①身近なものやことについて、児童にいくつあるかを尋ねる。</p> <p>②児童が答えた数字を黒板に書く。児童が日本語で答えた数については、教師が英語で答える。</p> <p>学級の人数、教室の机、都道府県の数、長野県の市町村の数、ひらがなの数、アルファベットの数等</p> |
| 4 | 聞く活動 | <p>■20～100 までの数字の言い方を知る。</p> <p>【聞こえた数字のブロックに色をぬろう】（英語ノート P 1 2）</p> <p>① 教師が言う数字のブロックに色をぬる。</p> <p>② 教師のヒントを頼りに、192, 54 の数字が表すものを考え発表する。（192：世界の国数 54：英語を公用語として使う国数）</p> <p>③ なぜ外国語の中でも英語をとりあげて学習するのか考える。</p> |

| | | |
|--------|-----------------|---|
| 5 | 口まねする活動 | <p>■100までの数字を言ってみる。</p> <p>【バズ・ゲーム】詳細は指導資料 P27 参照</p> <p>①4人のグループに分かれて、グループの中で協力して行う。</p> <p>②グループの中で順番に1～100（児童の実態に応じて変える）を言わせる。</p> <p>③2回目は、3の倍数は言わずに手を叩く。</p> <p>④グループの中で4の倍数、5の倍数などと決めて同様に行う。</p> |
| 6 7 | 自分の意志で選んで発話する活動 | <p>■ この数字は何ですか②</p> <p>【友達探し】</p> <p>①フラッシュカードを使って20, 30, 40…100までを復唱する。</p> <p>②21～100の数字カードを順に提示しながらバラバラになるように箱に入れる。その際、児童は教師と一緒にその数字を言う。全てカードを入れたら箱でまぜる。</p> <p>③児童は、箱の中から無作為にカードを1枚とる。 *数の読み方が分からない場合、活動に入る前に教師に確認するように指示をだしておく。</p> <p>④カードは友だちに見せてはいけない。</p> <p>⑤カードを持って、教室内を自由に移動し、同じ十の位のカードを持つ友だちをできるだけたくさん見つける。</p> <div data-bbox="683 1128 1173 1402" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>会話例</p> <p>A: Hello. B: Hello.</p> <p>A: What number do you have? B: I have 52.</p> <p>B: What number do you have? A: I have 53.</p> </div> <p>① 全員が友だちを見つけられたらゲームを止め、見つけた友だちとグループになり、小さい数から順に列になって座らせる。</p> <p>② グループごとに立ち、小さい数字を持つ順に、一人一人持っているカードを見せながらその数字を言う。</p> <p>*数字カード</p> |

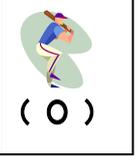
Lesson3 When is your birthday?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|----------------------------|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■月の言い方の導入に行く。</p> <p>【月名の導入】</p> <p>①黒板に“む・き・や・う・さ・み・ふ・は・な・か・し・し”と書き、What's this?と問う。</p> <p>②月の行事（英語ノート付属月カード）を、その月の下にはる。</p> <p>③だんだんと分かってくる子が出てくる。分かってきた子が出て来たら、子どもたちに月の行事カードを渡して、文字の下にはらせる。</p> <p>④英語の言い方を紹介し、リピートさせる。</p> |
| 2 | <p>口まねする活動</p> <p>聞く活動</p> | <p>■月の言い方を聞いて慣れる。</p> <p>【キーワードゲーム】</p> <p>①12枚で行うと大変である。6枚ずつに分ける。今回は、1～6月まで行う。</p> <p>②黒板に、1月～6月まで順番に月の絵カードを貼る。</p> <p>③教師の後にリピートする。（言っている月を棒等で指す）</p> <p>④キーワードを決め、教師がキーワードを行った時には、手拍子。</p> <p>【この祝日は、何月？】</p> <p>①教師が祝日を言い、何月かを子どもたちに答えさせる。</p> <p>②教師：ひな祭り。When is it? （祝日が書いてある文字か絵を見せる） 児童：3月 教師：Yes. It's March. 児童：It's March.</p> <p>③繰り返す。</p> |
| 3 | <p>口まねする活動</p> <p>聞く活動</p> | <p>■月の言い方をたくさん聞く。</p> <p>【キーワードゲーム】</p> <p>①12枚で行うと大変である。6枚ずつに分ける。今回は、7～12月まで行う。</p> <p>②黒板に、7月～12月まで順番に月の絵カードを貼る。</p> <p>③教師の後にリピートする。（言っている月を棒等で指す）</p> <p>④キーワードを決め、教師がキーワードを行った時には、手拍子。</p> <p>【学校の行事カルタ】</p> <p>①2人一組になり、カードを広げる。同じ月が2組ずつになるように用意する。</p> <p>②1回目は、教師が月を英語で言い、児童がそのカードを取る。</p> <p>③2回目は、2ヒントカルタ。（カードは、1枚しかとれない） ヒント1 運動会 ヒント2 September</p> |

| | | |
|---|---|---|
| 4 | <p>口まねする活動</p> <p>聞く活動</p> | <p>■序数の言い方を聞く。</p> <p>【序数の言い方①】(英語ノート2 P18 Activity)</p> <p>①自分の月を書く。 ②CDを聞いて、自分の誕生日の日付を言ってみる。 ③2回くらい繰り返して行う。</p> <p>【序数の言い方②】(英語ノート2 P19 Let's Listen)</p> <p>①CDを聞きながら、誕生日の番号を入れていく。 ②CDを流したままだと分からなくなる。一文ずつ止め、教師がリピートする。名前と誕生日の所はゆっくり言う。</p> |
| 5 | <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■自分の誕生日を言ったり、友だちの誕生日を聞いたりする。</p> <p>【自分の誕生日を言う】</p> <p>①教師が自分の誕生日を言いながら、板書する。 教師：My birthday is March 31th. 3月31日(板書) 教師：When's your birthday?と児童に聞く。 児童：My birthday is June. (月だけ)</p> <p>②序数の言い方を確認する。 英語ノート2 P18のActivityのCDを聞きながら、自分の誕生日の日にならったら、発音する。教師は、黒板に数字を書いておき、棒で指していく。(英語ノートコンテンツが便利)</p> <p>③教師が誕生日を質問する。 教師：When's your birthday?と児童に聞く。 児童：My birthday is June 21th. (月と日を言う)</p> |
| 6 | <p>記憶し自分のものにする活動</p> <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | <p>■自分の誕生日を言ったり、友だちの誕生日を聞いたりする。</p> <p>【序数ゲーム】指導資料 P47 参照。</p> <p>①4人程度のグループになる。 ②順番を決め、1番の児童から、順に1～31の序数を言っていく。一人が言える序数は、1～3個で、3個以内なら行くでも良い。順に言っていき、31の序数をいわなければならなくなった児童がアウトになる。</p> <p>【友達誕生日インタビュー】①</p> <p>①英語ノート P21のシートを使って友達に誕生日を聞く。 ②教師が例示を示す。 教師：Hello. When is your birthday 児童：My birthday is～. When is your birthday? 教師：My birthday is～.Bye. 児童：Bye.</p> |
| 7 | | <p>■自分の誕生日を言ったり、友だちの誕生日を聞いたりする。</p> <p>【友だちの誕生日インタビュー】②※前回の続きを行う。 ①終了後に、各月の人数を確かめていく。</p> |

Lesson4 Can you play~?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|------------------|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■I can ~/I can't~. Can you play~? をたくさん聞かせる。</p> <p>【昔の遊びの紹介】</p> <p>①昔の遊びを紹介する。 (けん玉、お手玉、こま、あやとり、竹とんぼ等)</p> <p>②児童にその遊びができるかを尋ねる。 教師：I can ~. Can you do this? 児童：Yes.</p> <p>③ Yes と答えた子には、その場で道具を渡して、やらせる。 教師は、挑戦する児童に Can you do this?と聞いてからやらせる。</p> |
| 2 | 聞く活動 聞く活動 | <p>■I can~/I can't~.をたくさん聞かせる。</p> <p>【英語ノート2 P24 Let's Listen】</p> <p>①英語ノート P24 を開かせ、ヒントを言うのでどれのことか考えるように指示を出す。</p> <p>②CDを流しただけでは、難しい。教師が言うか、CDを止めながらやるか工夫する。</p> <p>【3 ヒントゲーム】</p> <p>①動物のヒントクイズをやる事を告げる。</p> <p>②Let's Listen と同様に教師がヒントを出すことをつげて、お隣同士やグループ毎に答えを考え、シートに書かせる。</p> <p>③最後に答え合わせを行う。</p> <p>※動物のヒントの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペンギン I can swim. I can't fly. ・鳥 I can fly. I can't swim. ・トビウ I can swim. I can fly. I can't walk. ・カ I can walk. I can swim. I can't fly. ・犬 I can swim. I can run. I can jump. I can't fly. |
| 3 | 聞く活動 | <p>■I can~/I can't~.をたくさん聞かせる。</p> <p>【先生のできることでできないこと】</p> <p>①英語ノート P27 に出てくる動作について、学級担任ができるかどうかを児童に予想させる。 教師：Please guess. I can play baseball. I can't play baseball. Raise your hand. 児童：どちらかに手を挙げる。 教師：I can play baseball.</p> <p>②同じように繰り返す。</p> |

| | | |
|---|----------------------------------|--|
| | <p>聞く活動 口まねする活動</p> | <p>【カルタゲーム】</p> <p>①2人一組になる。</p> <p>②1回目 教師が I can play baseball. と言ったら、 児童は、カードを取る。 I can't play baseball. と言ったら、カードを取れない。</p> <p>③2回目 教師が I can play baseball. と言ったら、 児童は、○がついたカードを取る。 教師が I can't play baseball. と言ったら、 児童は、×がついたカードを取る。</p> <p>③慣れてきたら、順番に児童に言わせる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(X)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(O)</p> </div> </div> |
| 4 | <p>口まねする活動</p> | <p>■ I can~/ I can't~を言ったり、聞いたりする。</p> <p>【私は、誰でしょうクイズ】</p> <p>①班毎に動物カードを渡す。</p> <p>②リーダーがカードを引きヒントを出す。(色、形、できる、できない) ジェスチャーでも良い。</p> <p>児童： I'm black. I can't fly. I'm bird.</p> <p>③分かったら、カードを取る。</p> <p>④1回ずつにヒントを出す人を変える。</p> <p>⑤時間内に、グループで何枚のカードが取れるかを競争する。</p> |
| 5 | <p>記憶し自分にも のにする活動</p> | <p>■ Can you~?の言い方を聞く。</p> <p>【教師のインタビュー】</p> <p>①児童にはじから、Can you~?で質問をしていく。</p> <p>教師： Can you play baseball? 児童： Yes, I can. 教師： Me ,too. That's good.等反応を返す。</p> <p>【Let's Listen②】 英語ノート P25</p> <p>①英語ノート P25 の Let's Listen②</p> <p>②CD よりも教師がゆっくりジェスチャー等を加えながら言ったほうが良い。</p> <p>②詳細は、指導資料 P58 を参照</p> |
| 6 | <p>自分の意志で選 んで発話する活 動</p> | <p>■ Can you~?の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【学級名簿でインタビュー】</p> <p>①学級名簿を1人1枚配布する。</p> <p>②友達に Can you~?で聞きたいことを決めて書く。</p> |

| | | |
|---|------------------------|---|
| | | <p>③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Can you play baseball? 児童：Yes, I can. 教師：Me ,too. That's good.等反応を返す。 交代して児童が質問をする。</p> |
| 7 | <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | <p>■Can you~?の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【Activity】 英語ノート P27</p> <p>①英語ノート P27 のシートを使用。 ②教師が Can you play ~?と言った後に、児童も一緒に言う。 ③Activity の例示を教師が例示を示す。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Can you play baseball? 児童：Yes, I can. 教師：Me ,too. That's good.等反応を返す。 交代して児童が質問をする。 ④ () の枠の中に「できる」と答えた友だちの名前を書く。 ⑤時間が終わるまで、できるだけたくさんの友だちに質問をする。</p> |

Lesson5 Turn right ~?

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|--|---|
| 1 | <p style="text-align: center;">聞く活動</p> <p style="text-align: center;">口まねする活動</p> | <p>■建物の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【建物の名前3 ヒントゲーム】 ①建物のヒントを教師が出していく。 ②児童が日本語で答えたら、教師は英語で言う。</p> <p>【キーワードゲーム】 ①建物のカードを黒板に貼る。 ②教師の後に、児童がリピートする。 ③教師は、キーワードを1つ決める。キーワードの時には、児童はリピートせずに手拍子をする。</p> |
| 2 | <p style="text-align: center;">聞く活動</p> <p style="text-align: center;">口まねする活動</p> | <p>■建物の言い方を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【建物の名前カルタ】 ①2人一組になる。 ②1回目・・・教師が言った単語の建物の絵カードを取る。 ③2回目・・・教師がヒントを言って子どもたちが取る。</p> <p>【キーワードゲーム】 ①建物のカードを黒板に貼る。 ②教師の後に、児童がリピートする。 ③教師は、キーワードを1つ決める。キーワードの時には、児童はリピートせずに手拍子をする。</p> |
| 3 | <p style="text-align: center;">聞く活動</p> <p style="text-align: center;">口まねする活動</p> | <p>■turn right turn left 等を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【Please game】 (サイモンセズ) ①教師が Please stand up. と please をつけて指示を出したときだけ、児童はその動作をする。 ②stand up/sit down/turn right/turn left 等の指示を出す。</p> <p>【道案内すごろく】 (※別紙シート参照) ①2人一組になる。すごろくシートと方向指示カードを配布する。 ②教師が例示をする。 ③2人でゴールに着くまで行う。 ④方向指示カードは、引いたら声に出して言う。</p> |

| 4 | 聞く活動 | <p>■教師や CD の道案内を聞いて、移動の仕方に慣れる。</p> <p>【英語ノート P30 Let's Listen】詳細は、指導資料 P78</p> <p>①英語ノート P30 を開く。 ②CD か教師の指示を聞いて、どこに移動するか確かめる。 ③けしごむ等のコマを用意させて、実際に動かしながら聞く。 ④最初は、黒板で教師が例示する。 ⑤難しいので、丁寧に指導する。 ⑥教師の指示で、CD にある場所以外にも移動させる。</p> | | | | | | |
|----|-----------------|---|----|----|---|--|----|--|
| 5 | 聞く活動 | <p>■Where is ~?の表現に慣れる。</p> <p>【Where is~?クイズ】</p> <p>①日本の有名な観光スポットの写真をいくつか用意する。 ②教師が、Where is this?と児童に質問する。 ③児童は、その観光スポットがある県名を答える。 ④教材の準備ができれば、外国の観光スポットも入れる。</p> | | | | | | |
| 6 | 記憶し自分のものにする活動 | <p>■二人組で、道案内を体験して慣れる。</p> <p>【グループで道案内】</p> <p>①教室内に模擬の町を作る。机を一区画として利用する。 (壁や机に地域のお店の写真等を貼っておくと面白い)</p> <p>②教室内に貼った建物の小さいカードをペア分用意する。 ③ペアで順番にカードを引く。引いた人がもう片方に道案内をしてもらう。</p> <p>児童①：Where is おもちゃ屋さん? 児童②：OK. Go street.Here. 児童①：Thank you.</p> <p>④時間まで二人で道案内を繰り返す。</p> | | | | | | |
| 7 | 自分の意志で選んで発話する活動 | <p>■教室に作った模擬の町で道案内を経験する。</p> <p>【教室で道案内】英語ノート P35 Activity2 を少し工夫した内容</p> <p>①英語ノート巻末付録の建物カードを拡大し、裏に点数を記入する。 そのカードを児童の机の上に置く。 ②教室にあるお店の一覧を黒板に書いておく。 ③下のようなシートを作って置き、一人ずつ自分が行きたいお店を 5 つ選ばせる。</p> <table border="1" data-bbox="571 1787 1075 1917"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>④2 人組になり、相手が行きたい場所に道案内する。 道案内係は聞かれたら、先ず場所を探しに行く。 児童 1 : Excuse me. Where is ~?</p> | 場所 | 点数 | 駅 | | 学校 | |
| 場所 | 点数 | | | | | | | |
| 駅 | | | | | | | | |
| 学校 | | | | | | | | |

| | | |
|---|------------------------|--|
| | | <p>児童2 : Ok. Go straight.道案内をする。 児童1 : Thank you. ③道案内をしてもらったら、お店の裏の点数をカードに記入する。 ④時間になったら、交代する。(教師が合図をする)</p> |
| 8 | <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | <p>■実際の地図を使った道案内を体験する。</p> <p>【自分たちの町の地図で道案内】</p> <p>①インターネット等で自分たちの町の細かいマップを用意する。 (校区をいくつかに分けて、数種類の地図があっても良い)</p> <p>②1人1枚配布する。</p> <p>③道を尋ねる人と道案内をする人に分かれる。</p> <p>④道を尋ねる人は、地図を見せながら、場所を尋ねる。 児童1 : Excuse me. Where is ~? 児童2 : Ok. Go straight.道案内をする。 児童1 : Thank you.</p> <p>⑤1人には、一カ所の場所を聞き、次の場所を聞きに移動する。 ⑥時間を区切って、道を尋ねる人と道案内をする人を交代する。</p> |

Lesson6 I want to go to Italy.

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|-----------------|---|
| 1 | 聞く活動 | <p>■ヒントを聞いて国名を当てる。</p> <p>【国旗の色・形ヒントクイズ】</p> <p>①様々な国の国旗を黒板に貼る。 ②教師が、色や模様に関するヒントを出す。 ※ヒントは、英語ノート P37Let's Listen②の CD を参照。 ③正解したら、国旗の国が世界地図のどこにあるかを教える。</p> |
| 2 | 聞く活動 | <p>■国名を言ったり、聞いたりする。</p> <p>【国名ヒントカルタ】</p> <p>①2人一組になる。 ②国旗カルタを配り、並ばせる。 ③1回目・・・教師が国名を言い、児童がその国のカード取る。 ④2回目・・・その国に関するヒントを3つ出す。</p> |
| 3 | 聞く活動 | <p>■Where is ~?の表現に慣れる。</p> <p>【Where is~?クイズ】</p> <p>①世界の有名な観光スポットの写真をいくつか用意する。 ②教師が、Where is this?と児童に質問する。 ③児童にその観光スポットがある国名を答えさせ、世界地図で場所示させる。 ④教師は、I want to see/eat/play 等も使ってその場所で何をしたいかを話す。</p> |
| 4 | 聞く活動 口まねする活動 | <p>■Where do you want to go?や I want to go to~.を聞く。</p> <p>【Where do you want to go?導入】</p> <p>①教師が行きたい国を紹介する。 教師：I want to go to~. I want to see/eat/play 等も使って説明する。 その際には、写真等を使う。 ②教師が児童に、Where do you want to go?と訪ねる。 教師：Where do you want to go? 児童：Italy. 教師：Me, too.等反応を返す。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | 記憶し自分のものにする活動 | <p>【ビンゴ】</p> <p>①1人ずつに国旗カードを配布する。</p> <p>②国旗カードの中から9枚を選び、3×3で並べる。</p> <p>③教師が Where do you want to go? と1人ずつに質問していく。</p> <p>児童：Italy.</p> <p>教師：I want to go to Italy. と繰り返す。</p> <p>④児童が言った国旗があったら、裏返す。</p> |
| 5 | <p>記憶し自分のものにする活動</p> <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■Where do you want to go? I want to go to~.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【教師→児童 One by one】</p> <p>①教師が Where do you want to go? と1人ずつに質問していく。</p> <p>児童：Italy.</p> <p>教師：I want to go to Italy. と繰り返す。</p> <p>【同じ国旗カードを持っている人探し】</p> <p>①1人1枚国旗カードを配布する。</p> <p>なるべく多い国の国旗を用意したい。</p> <p>②国旗を持っている国に行きたいという設定にし、同じカードを持っている友だちを捜すことを伝える。</p> <p>③教師が例示をする。</p> <p>教師：Hello. 児童 Hello.</p> <p>教師：Where do you want to go? と1人ずつに質問していく。</p> <p>児童：I want to go to Italy.</p> <p>教師：同じなら Me, too./ 違うなら I want to go to ○○.</p> <p>教師：Bye. 児童 Bye.</p> <p>④同じカードを持っている友だちをたくさん見つける。</p> |
| 6 | <p>聞く活動</p> <p>聞く活動 口まねする活動</p> | <p>■Why?の質問に対する答え方として、I want to~.の言い方を聞く。</p> <p>【Why? I want to see~.の導入】</p> <p>①教師：I want to go to~.と言い国旗を黒板に貼る。</p> <p>②教師：I want to eat~.等理由をいくつも言っていく。</p> <p>③数カ国で繰り返す。</p> <p>④児童にも質問する。</p> <p>教師：Where do you want to go? と1人ずつに質問していく。</p> <p>児童：I want to go to Italy.</p> <p>教師：Why?</p> <p>児童：○○</p> <p>教師：I want to eat ○○.と言い方を教える。</p> <p>【カルタ】</p> <p>①4人一組になる。英語ノート巻末資料を2セット広げる。</p> <p>②教師が、I want to see/eat/play~.と言う。</p> <p>③児童は、そのカードを取る。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| 7 | <p>記憶し自分のものにする活動</p> <p>自分の意志で選択して発話する活動</p> | <p>■Where do you want to go? I want to go to~. Why? の表現を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【教師→児童 One by one】</p> <p>①教師：Where do you want to go?と 1 人ずつに質問していく。 児童：I want to go to Italy. 教師：Why? 児童：I want to eat ○○.(詰まっていたら、言い方を教える)</p> <p>【友達にインタビュー】</p> <p>①学級名簿を 1 人 1 枚渡す。 ②自分がいきたい国と理由をシートに書く。 ③インタビューの例示を教師がする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：Where do you want to go? 児童：I want to go to Italy. 教師：Me,too.Why? 児童：I want to eat○○. 教師：Me, too 等反応する。 交代して、質問する。 ④聞いたら、名簿に行きたい国名と簡単に理由を書く。 ⑤時間になるまで、色々な友だちとインタビューをする。</p> |
|---|--|---|

Lesson7 What time is it? /What time do you get up?

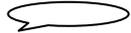
| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|------------------------------------|--|
| 1 | <p>口まねする活動</p> <p>口まねする活動</p> | <p>■What time is it? It's8:00.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【What time is it?導入】</p> <p>①時計の模型で時刻を示して、教師が What time is it?と聞く。 ②工夫するならば・・・。 テレビ番組を教師が言い、児童がスタート時間を言う。 教師：It's time 笑っていいとも. What time is it?</p> <p>【世界の時間（英語ノート P44.45 を使って）】</p> <p>①英語ノート P44,45 を開かせる。 ②場所を確認してから、時計に時刻を記入させる。 教師：Where is Tokyo?場所を確認する。 児童：What time is it?みんなで言わせる。 教師：It's8:00. 以下繰り返し行う。</p> |
| 2 | <p>聞く活動</p> <p>記憶して自分のものにする活動</p> | <p>■What time is it? It's8:00.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【今、何時？英語ノート P46 Let's Listen】</p> <p>①英語ノート P46 を開く。 ②1 番から順に、教師が時刻を言っていく。ここは、CD でなく、教師がゆっくり言ったほうが良い。</p> <p>【同じ時刻の時計を持つ友だち捜し】</p> <p>①1 人 1 枚時計の時刻を記入したカードを渡す。 (あらかじめ 2 人組になるように作る。) ②教師が例示する。 教師：Excuse me.児童：Yes. 教師：What time is it? 児童：It's〇〇. 教師：It's〇〇. 同じだったら、Me, too.と言いペアになる。 違っていたら、Bye.をして違う友だちの所へ行く。 ③時間を区切って 2 回ほど行う。</p> |
| 3 | <p>聞く活動</p> <p>自分の意志で選んで発話する活動</p> | <p>■教師の What time do you get up?を聞き、At 7:00.と答える。</p> <p>【教師から児童への One by one】</p> <p>①教師が一日の生活を説明する。絵カードを使いながら説明する。 I get up at 〇〇. ②絵カードを見せながら、児童に What time do you get up?等質問する。 教師：What time do you get up?</p> |

| | | |
|---|----------------------------------|---|
| | | <p>児童：At 7:00. 教師：You get up at 7:00.と繰り返してあげる。 ③色々なバージョンで全員に1回は、質問する。</p> |
| 4 | <p>聞く活動</p> <p>聞く活動</p> | <p>■動作の言い方を聞く。</p> <p>【動作カルタ】</p> <p>①2人一組になる。 ②動作カードを配る。(英語ノートP47のイラストを印刷) ③1回目・・・教師が言った動作のカードを取る。 教師：Get up.児童：Get up.と言ってカードをとる。 ④他の動作で繰り返す。</p> <p>【英語ノートP46 Activity】</p> <p>①英語ノートP46を開く。 ②教師が、一日の様子を英語で話す。児童は、イラストと時刻の所を線で結ぶ。 教師：I get up at 6:30. ③時間に余裕があれば、イラストにないことも話してテキストの隙間に日本語で書かせてもよい。</p> |
| 5 | <p>聞く活動</p> <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■What time do you get up?を聞き、自分の時刻を記入する。</p> <p>【私の日課表作り①】</p> <p>①日課表シートを1人1枚配布する。 get up, eat breakfast, go to school, eat dinner, take a bath, go to bed, do homework のイラストの横に時刻を書けるようにしておく。 ②教師が質問したら、自分がそれをする時刻を記入する。 教師：What time do you get up? 児童：シートに記入する。 ③以下繰り返す。</p> <p>【私の日課表作り②】</p> <p>①作った日課表でお隣の人と時刻を紹介し合う。 ②時間があれば、同じ班内で紹介し合う。</p> |
| 6 | <p>記憶し自分のものにする活動</p> | <p>■What time do you get up? I get up at ○○.を聞いたり、言ったりする。</p> <p>【何時に～しているか予想ゲーム】</p> <p>①get up, eat breakfast, go to school, eat dinner, take a bath, go to bed, do homework の絵カードを用意する。 ②児童一人に1枚引かせる。 ③他の児童は、その児童が何時に～をするか(引いたカードの動作)</p> |

| | | |
|---|-----------------|---|
| | | <p>を予想して紙に書く。</p> <p>④みんなでその子に英語で質問をする。 児童全：What time do you get up? 児童：I get up at〇〇.</p> <p>⑤一人ずつ同様に行っていく。</p> |
| 7 | 自分の意志で選んで発話する活動 | <p>■What time do you get up? I get up at〇〇.を聞いたり，言ったりする。</p> <p>【1番〇〇なのは誰？インタビュー①午前】</p> <p>①“1番早く起きるのは誰か？”“1番早く朝ご飯を食べ始めるのは誰か？”等午前で友だちに聞いてみたい項目を1つ決める。</p> <p>②学級名簿を配布する。</p> <p>③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What time do you get up? 児童：I get up at〇〇. 交代して聞く。 教師：Bye. 児童：Bye.</p> <p>④時間を決めて、できるだけたくさん友だちに質問をする。</p> <p>⑤何を質問して、誰が1番〇〇だったかを紹介する。</p> |
| 8 | 自分の意志で選んで発話する活動 | <p>■What time do you get up? I get up at〇〇.を聞いたり，言ったりする。</p> <p>【1番〇〇なのは誰？インタビュー②午後】</p> <p>①“1番早く寝るのは誰か？”“1番早く夕ご飯を食べ始めるのは誰か？”等午後で友だちに聞いてみたい項目を1つ決める。</p> <p>②学級名簿を配布する。</p> <p>③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What time do you go to bed? 児童：I go to bed at〇〇. 交代して聞く。 教師：Bye. 児童：Bye.</p> <p>④時間を決めて、できるだけたくさん友だちに質問をする。</p> <p>⑤何を質問して、誰が1番〇〇だったかを紹介する。</p> |

Lesson8 「オリジナルの劇をつくろう」

| 回数 | 活動バランス | 活動 |
|----|--------|--|
| 1 | | <p>■物語の一部を聞いて、どのお話かを理解する。 【物語の題名あてクイズ】 ①物語の場面の絵を用意し、黒板に貼っておく。 ②日本・世界の物語の一部を英語で読んで聞かせる。 *英語ノート CD を使っても良い。 (桃太郎、赤ずきん、大きなかぶ、シンデレラなど日本語で知っている話がよい。) ③何の物語か子どもたちに当てさせる。*日本語で答える。 ④教師は子どもの答えた物語の名前を英語に置き換えて繰り返し聞かせる。</p> |
| 2 | | <p>■「大きなかぶ」の物語を聞いて、登場人物とあらすじを理解する。 ①「大きなかぶ」のそれぞれの場面の絵を用意しておく。 ②①の絵を利用して紙芝居のように「大きなかぶ」をゆっくり読み聞かせる。 ③読み聞かせた後で、絵を黒板にランダムに貼る。 ④もう一度大きなかぶを読み聞かせる。 ⑤お話の順に絵を並べ替えさせる。 ⑥絵を使い登場人物について確かめる。 教師：Is this a Grandpa? 児童：Yes. 教師：Yes. It's Grandpa. He pulled the big turnip. * Grandpa, grandma, girl, mouse, cat, dog を同じようにして確かめる。 * 答えの確認のところで、教師はお話の場面を繰り返し聞かせるとよい。</p> |
| 3 | | <p>■チャンツ Yo-heave-ho!を聞いたり、言ったりする。 ①CD を使い Yo-heave-ho!を聞かせる。 ②登場人物を確認する。 ③日本語と英語の違いを出し合う。 教師：うんとこしょ、どっこいしょは英語だと何と云って る？ 児童：1. 2. 3, Yo-heave-ho! ④何度か繰り返して聞かせる。(CD のスピードが速い場合には、教師がゆっくり繰り返し言う。) * 動作をつけたり、絵を使ったりして繰り返し聞かせる。</p> |

| | |
|---|--|
| 4 | <p>■ 「大きなかぶ」の物語を聞きお話の中のフレーズを理解する。</p> <p>① 「大きなかぶ」読み聞かせ、お話の順に絵を並べていく。</p> <p>② 人物のセリフのふきだし  を貼る。</p> <p>③ お話の中でのフレーズを児童と確かめる。 教師：How does the grandpa say 助けて！ In English? 児童：Help me. * どうしたの・見て！・うわあ、大きなかぶ！・いいかい？ うんとこしょ、どっこいしょなどを確かめる。 絵や動作を使って場面とあわせながら繰り返し聞かせる とよい。</p> <p>④ それぞれの登場人物のふき出しの言葉を繰り返し聞かせる。 * 場面に合わせて、動作をつけ繰り返す。</p> |
| 5 | <p>■ 「大きなかぶ」の地の文（ナレーション）を聞いたり、言ったりする。</p> <p>① 登場人物の絵を用意する。</p> <p>② 登場人物を出てきた順に並べ替えさせる。</p> <p>③ チャンツ Yo-heave-ho! を聞かせる。</p> <p>④ ③をゆっくり教師が繰り返し、児童も真似する。</p> <p>⑤ 物語のあらすじに合わせ、ナレーションを聞かせる。 Grandpa pulls the turnip. Grandma pulls the turnip. One, two, three! Yo-heave-ho! それぞれの人物のセリフは教師が言う。</p> <p>⑤ 何回か繰り返した後、登場人物になりたい児童を当てて、場面を動作化し、ナレーションを試してみる。 * 教師は動作と人物を合わせながら繰り返し言う。</p> |
| 6 | <p>■ 登場人物を替えて、オリジナルの大きなかぶを考えよう。</p> <p>① 登場人物に使える動物・人物の絵を用意する。</p> <p>② チャンツ Yo-heave-ho! 聞かせる。</p> <p>③ お話の筋に沿って、セリフやナレーションを言わせる。</p> <p>④ 登場人物を替えて、オリジナルの大きなかぶを作らせる。 (ペア又はグループ活動) * 英語ノート P 5 4 を利用して、登場順に動物・人物を書き入れさせる。セリフや動物名でこまっているようなら教師が支援する。</p> <p>⑤ 役割を決めて、練習をする。</p> |
| 7 | <p>■ オリジナルの劇をみんなに聞いてもらおう。</p> <p>① 各グループで練習をする。</p> <p>② それぞれのグループの発表を聞き合う。 * セリフやナレーションなど詰まってしまうことがあれば、教師や聞いている児童が助けてあげる。 * 時間があれば、大きなかぶと登場人物のお面を作り劇化する とよい。</p> <p>③ 各グループの発表を聞いて、感想を出し合う。</p> |

| | | |
|---|------------------|--|
| | 口まねする活動 | <p>【職業名ビンゴ】</p> <p>①絵カードは、英語ノートの巻末シートだけでなく、英語ノート P62,63 Let's enjoy3 を印刷して利用したい。</p> <p>②自分のカードから 16 枚を選び、4×4 で並べる。</p> <p>③教師が、1 人ずつ児童に質問をする。答えたカードを裏返す。 教師：What do you want to be? 児童：I want to be~.</p> <p>④慣れてきたら What do you want to be? と全員で質問する。</p> |
| 5 | 自分の意志で選択して発話する活動 | <p>■What do you want to be? I want to be~.を使った活動。</p> <p>【自分の夢を書こう】</p> <p>①英語ノート P60 の Activity①に自分の夢と理由を記入する。</p> <p>【友だちの夢インタビュー①】</p> <p>①教師が 1 人ずつに質問する。 教師：What do you want to be? 児童：I want to be~. 教師：That's good.等反応をする。</p> <p>②学級名簿を 1 人 1 枚配布する。</p> <p>③教師が例示をする。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What do you want to be? 児童：I want to be~. 教師：That's good.等反応をする。 ※交代して児童が質問する。</p> <p>④時間の中でできるだけ沢山の友だちに質問し、名簿に記入する。</p> |
| 6 | 自分の意志で選択して発話する活動 | <p>■What do you want to be? I want to be~.を使った活動。</p> <p>【友だちの夢インタビュー②】</p> <p>①前時の続き。本時で全員に聞けるように時間を設定する。</p> <p>②教師が例示をする。(3~4 人) 今回は、Why? と理由も聞く。 教師：Hello. 児童：Hello. 教師：What do you want to be? 児童：I want to be~. 教師：Why? 児童：I like~.</p> |
| 7 | 自分の意志で選択して発話する活動 | <p>■教師の質問に答えたり、友だちの答えを聞いたりする。</p> <p>【面接チャレンジ】</p> <p>①教師が面接官役になり、面接に挑戦したい子たちに挑戦させる。</p> <p>②既習の表現を使って様々なことを聞く。(以下 例示)</p> <p>教師：Hello. Nice to meet you. 児童：Nice to meet you. 教師：What's your name? 児童：I'm ~. 教師：How old are you? 児童：I'm ~. 教師：When is your birthday? 児童：My birthday is~. 教師：What do you want to be? 児童：I want to be~. 教師：Why? 児童：I like~. 教師：Can you play~? 児童：Yes, I can. 教師：Very good. See you. 児童：Thank you. See you.</p> |

